

2015 年度版技術基準解説書 柱脚設計フローに追加された
「基礎コンクリートの破壊防止等の確認」について

2015 年度版技術基準解説書 柱脚設計フローに追加された「基礎コンクリートの破壊防止の確認」について、以下の 3 項目が記されています。

- 1) 縁辺の剥落
- 2) 立ち上げ部の割裂
- 3) 端部のせん断力による剥落

上記の項目について、ジャストベース (JEI 型) 柱脚工法は、基礎柱検討時において、必要最小基礎柱断面量でコーン破壊検証、せん断・曲げ検証を行い評定委員と検討し、梁が存在する状態で実大実験を行い、基礎柱が破壊しない事を確認しています。

また、柱脚耐力について、アンカーボルト所定強度とコンクリート支圧強度の範囲内で柱脚耐力を設定しており、設計、実験検証に基づき基礎破壊及びコーン状破壊しない配筋量を定め、基礎柱断面を決定しております。

従って、検討応力値がジャストベース (JEI 型) の定める M-N 耐力曲線の範囲に入る場合においては、柱脚毎に定めている標準柱脚仕様であれば、基礎コンクリートは破壊しないと考えます。